

## 五戸総合病院での研修を終えて

(平成30年10月研修医)

順天堂大学医学部附属浦安病院

初期臨床研修医 高 得榮

私は1か月間内科をローテーションさせていただき、内科外来や内視鏡、超音波外来、病棟業務に携わりました。病院内の患者さんのほとんどがご高齢のかたであり、方言がつよく耳が遠いため意思疎通には苦労し、外来ではなかなか伝えたいことが伝わらなかったり、相手の言っていることが分からなかったり地域実習の洗礼を受けました。しかし五戸のスタッフの皆さん・ご家族の方々など皆さん本当に親切で優しい方ばかりで助かりました。外来では元気に歩いてくる方もいれば心筋梗塞や悪性腫瘍脳転移の方、慢性硬膜下血種など重症で緊急性の高い方もいました。地域でも自分のいる病院と同様の医療水準が必要であることを実感しました。

地域実習ということもあり地域ならではの研修もさせていただきました。訪問診療や往診など勤務中に白衣をきて外に出ることがいままでなかったので新鮮でした。往診ではお見取りをどこでするかのICをしていたのを強烈に覚えています。医師・看護師など医療関係者とご家族の方の信頼関係が大事であると感じました。また地域ケア会議も印象深かったです。五戸という町全体で、また看護師・薬剤師・リハビリのかたなど様々な方面からどのようなサポートができるか考える会議でした。いままでの研修では入院中の患者さんの対応が中心であり地域の方への医療を見れたのは初めてで、退院後の方をどのようにサポートするかも大変勉強になりました。

研修中にお世話になった五戸の先生方には本当にやさしく指導していただき、たくさんおいしい料理もごちそうになりました。地域実習では五戸病院を選んでよかったと心から感じております。1か月間ありがとうございました。